

競 技 注 意 事 項

2017 第7回名古屋地区競技会
プレシーズンゲーム

1 本大会は2016年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。

1 本大会は2016年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。

* この競技会の記録は、日本陸連の公認対象です。ただし、男子60m・女子300mは日本陸連の日本記録の公認要件となっておりません。

ただし、今大会の記録は公認記録となります。

* 本競技会の結果は、記録速報のほかリザルトが公表されます。結果には、順位・記録のほか選手の氏名・所属・学年を含みます。

2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1) 2016年度の登録番号をユニフォームの胸、背に確実につけてください。跳躍競技は胸または背につけるだけで構いません。
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。ランニングパンツの右横や後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつけてください。
- (3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（ゴール前方スタンド側）に返却してください。

3 ウォーミングアップ場について

今大会は、北陸上競技場が使用できません。

- (1) ウォーミングアップは、本陸上競技場のバックストレート側をウォーミングアップ場として使用できます。ただし、他種目の競技進行の妨げにならないように競技役員の指示に従ってください。
- (3) フィールド種目の練習は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示に従ってください。
- (4) 瑞穂陸上競技場2階室内雨天走路の使用については、晴天時はジョギング程度の使用とします。雨天時は競技役員の指示に従ってください。
- (5) 競技開始前の本競技場のトラックは、大会の準備に支障のない範囲で**出場競技者に限って**、ウォーミングアップのために最初のトラック競技開始時刻15分前まで使用しても構いません。その際、**持ち込みの牽引用チューブやミニハードル等の使用は禁止します。**

4 招集について

- (1) 招集所は正面スタンド下、**100mスタート付近競技者ホール**に設けます。すべての種目の招集をこの場所で行います。北陸上競技場で実施される種目に出場される方は、移動時間を考慮してください。
- (2) 招集の受付は本人が行ってください。時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めません。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準として、次のとおりとします。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	40分前	20分前
フィールド競技	すべての種目	60分前	40分前

5 競技場への入退場について

- (1) 入場は競技役員の指示に従い行ってください。
- (2) 退場は、下記のとおりとします。
トラック競技 フィニッシュ地点退場口から2階の雨天走路を経て退場してください。
フィールド競技 競技場所から近い出入口から退場してください。

6 レーン順・試技順について

- (1) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。
- (2) 欠場者のレーンは60m・300mではあけます。1000mについては競技役員の指示に従ってください。
リレー種目で、欠場チームが多い場合は組み合わせを変更する場合があります。事前に欠場がわかっている場合には、本部までお知らせください。

7 競技について

- (1) トラック競技について

この大会は、不正スタート1回失格を適用する競技会として実施します。

①スターターの合図は英語とします。（「On your marks」、「Set」）

②すべて写真判定装置を使用します。

③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ってください。

④60m、300mの決勝番組編成は予選記録下位から1組、上位を2組以降とします。

リレーは、申込記録下位から1組、上位を2組以降とします。

⑤同タイムの着差は、1,000分の1秒差まで考慮します。

⑥レース中に競技者が自らの意志でトラックを離れた場合は、そのレースを継続することができません(DNFとなります)。

(2) フィールド競技について

長さを競う競技は、トップ8を実施します。

①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の手配に従ってください。

②投てき競技の計測は、光波測定器を使用します。

③フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができます。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できません。

(3) 競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則第144条2bで禁止されたビデオ装置・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することができません。

(4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。警告は黄黒色（斜め半分形）のカード、除外は赤黒色（斜め半分形）のカードを示すことによって競技者に知らされます。

(5) 各種目8位まで賞状を授与します。

8 走高跳のバーの上げ方

(ただし、天候等の状況により変更する場合があります。)

		練習A	練習B	1	2	3	4	5	
男子	A	1m60	1m80	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以後3cm
	B	1m40	1m60	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m70までは5cm 以後3cm
女子	A	1m40	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以後3cm
	B	1m20	1m35	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m50までは5cm 以後3cm

※練習はいずれかの希望する高さで行うことができます。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳では5cmとします。

9 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したのものを使用しなければなりません。ただし、やりについては、競技場に無いもの、もしくは1つしかない物の場合は持ち込みを認めますので、希望者は各競技の招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫（フィニッシュライン付近）でやりの検査を受けてください。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとします。

10 競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6参照）

スパイクの長さは9mm以内とします。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とします。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければなりません。なお、スパイクの数は11本以内です。

11 瑞穂陸上競技場の使用について

(1) 今回の開門時刻は、午前8時30分とします。それ以前には立ち入らないでください。また、申込数に応じて、2F3Fのバックスタンド裏の待機場所を指定しますので、**場所取りは行わない**でください。

(2) バックスタンドの上部以外には応援幕等を張れません。

(3) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内に立ち入ってははいけません。

- (4) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行い、環境美化に努めてください。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

- (5) この大会は清掃当番を 愛知高校、名古屋南高校にお願いしています。
各校の部員は、競技終了後ただちに本部前に集合してください。

12 一般的注意事項

- (1) 本大会は大型映像を活用して競技会運営を行いますので、氏名・所属等の間違いがあれば本部に申し出てください。
- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにしてください。更衣後の荷物は各自で管理してください。
- (2) 貴重品類は、各自で保管してください。万一の事故があっても、責任は負いません。盗難には十分に注意してください。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室（フィニッシュ付近スタンド下）**において処置が受られます。なお、**応急処置後の治療は、本人負担とします。**

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者が持参してください。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可するエリアは、**メインスタンドのみ**とします。それ以外での区域での撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

・選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、走高跳・棒高跳等で試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時。

※許可区域以外での撮影や、他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、直ちに警察および関係機関に連絡します。